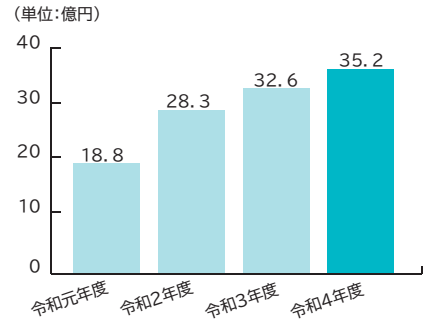


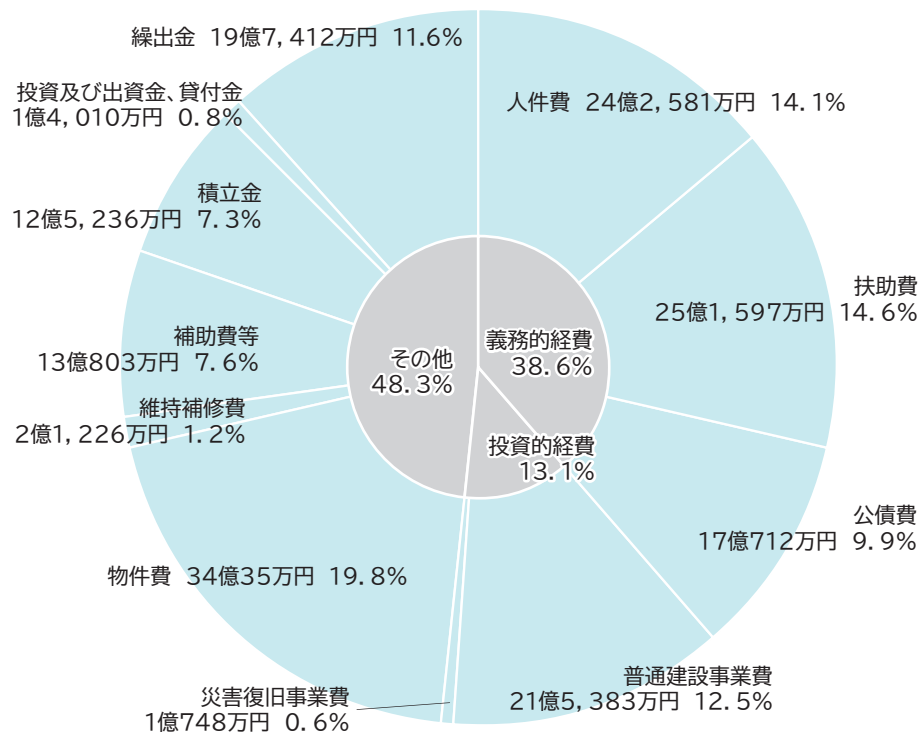
財政調整基金(貯金)残高の推移
(年度末)



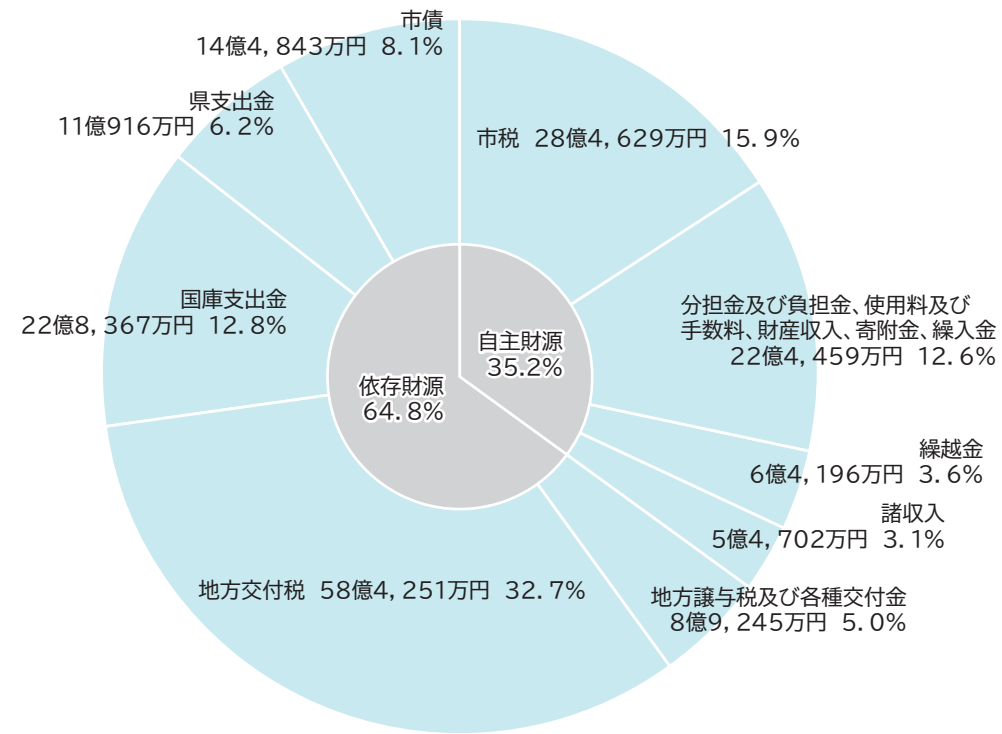
にかほ市の貯金にあたる「財政調整基金」は、突発的な災害により生じた減収の補てんや緊急を要する経費に備えるため、また年間の財源の不均衡を調整するために設置している積立金です。

令和元年度末においては、ガス事業会計の廃止に伴う貸付金により一時的に減少しましたが、令和2年度末には、同貸付金の返還等により残高は回復し、その後はふるさと納税による寄附金や、新型コロナウイルス感染症対応の国庫補助金などを有効活用して事業を推進したことにより、令和4年度末の残高は約35億2,000万円となりました。

一般会計 歳出 171億9,743万円



一般会計 歳入 178億5,608万円



■決算の概要

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策事業を実施しつつ、急激な物価高騰に対応し、市民生活を守るとともに、地域経済への影響を最小限に抑えるための支援策などに重点的に取り組みました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は6億5,865万1千円、令和5年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は5億5,836万6千円の黒字となりました。

歳入については、市税が前年度比で4.4%、約1億2千万円増加した一方、普通交付

各会計の決算状況

にかほ市議会9月定例会で承認された令和4年度の決算状況をお知らせします。(金額・数値は表示単位で調整)

会計名	歳入総額①	歳出総額②	形式収支③=①-②	繰越事業費繰越財源④	実質収支⑤=③-④
一般会計	178億5,608万5千円	171億9,743万4千円	6億5,865万1千円	1億28万5千円	5億5,836万6千円
特別会計					
国民健康保険(事業勘定)	27億3,353万0千円	27億659万3千円	2,693万7千円	0円	2,693万7千円
国民健康保険(施設勘定)	9,405万3千円	8,214万7千円	1,190万6千円	0円	1,190万6千円
後期高齢者医療	3億6,100万3千円	3億5,944万6千円	155万7千円	0円	155万7千円
公共下水道事業	13億1万2千円	12億7,642万1千円	2,359万1千円	1,063万1千円	1,296万0千円
農業集落排水事業	4億4,535万8千円	4億2,519万5千円	2,016万3千円	1,107万3千円	909万0千円

企業会計		収入	支出
水道事業	収益的収支	6億3,091万3千円	6億117万2千円
	資本的収支	7,918万0千円	2億2,645万1千円

※資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。



決算

図 財政課 ☎43-7512

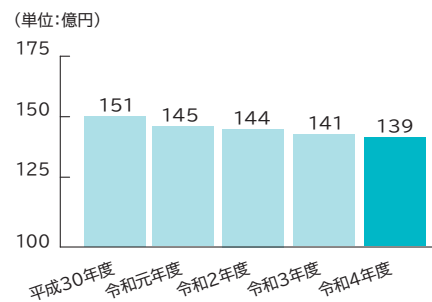
税が減額となり、特別交付税と合わせた地方交付税額が前年度比で1.2%、約6,842万円減少しました。

歳出については、物件費は、エネルギー価格高騰による施設管理費や人的経費にかかる各種委託料など、経常的な歳出が増加傾向にあります。普通建設事業費は、アウトドア拠点づくり事業や金浦こ線橋改修事業の実施などにより、前年度比で10.8%、約2億1千万円増加しました。

令和4年度の主な事業

- 1. 快適に暮らせるまち**
障がい福祉サービス事業...5億6,468万円
避難路整備事業...2,356万円
象潟大竹線・象潟前川線道路改良事業...8,729万円
金浦こ線橋改修事業...1億2,303万円
高齢者予防接種事業...994万円
公園施設整備事業...8,759万円
- 2. 子育てしやすいまち**
任意予防接種事業...1,131万円
放課後児童健全育成事業...3,167万円
病児保育事業...1,709万円
子ども家庭総合支援拠点事業...4,645万円
出産・子育て応援交付金事業...929万円
- 3. 高齢者が元気なまち**
家族介護援助金支給事業...742万円
ほかほか入浴補助事業...349万円
地域支援事業...2,597万円
- 4. 若者に魅力のあるまち**
若者支援住宅整備事業...2,963万円
移住・定住促進事業...2,133万円
子ども伴奏プロジェクトPR事業...1,293万円
- 5. 人と文化が豊かなまち**
図書館大規模改修事業...8,521万円
獅子ヶ鼻湿原緊急調査事業...558万円
池田修三作品活用事業...411万円
- 6. 稼ぐ力が強いまち**
森林経営管理制度事業...1,619万円
水産基盤整備関係事業...3,728万円
ワーケーション推進事業...3,239万円
アウトドア拠点づくり事業...3億8,505万円
- 7. 市民と行政が協働でつながるまち**
若者100人会議事業...412万円
ふるさと納税関連事業...6億4,015万円
- 8. 新型コロナウイルス感染症対策事業**
コンビニ交付導入事業...2,416万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業...1億569万円
住民税非課税世帯物価高騰対策事業...3,656万円
電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業(市単独分)...1,132万円
一次産業支援事業...6,168万円
飲食店・運送業等事業継続支援金...2,898万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業...1億4,772万円

一般会計・市債(借金)残高の推移(年度末)



◀にかほ市では市債残高に留意し、過度な将来負担とならないよう考慮しながら大型事業を実施している、残高は徐々に減少しています。

■令和4年度決算と今後の財政運営

令和4年度の一般会計予算は、財政状況を示す4指標のうち、実質公債費比率・将来負担比率は増加したものの、すべて十分健全な基準の範囲内にあります。

今後、ふるさと納税をはじめとした自主財源確保に注力しながら、活用期限の迫った財政上有利な地方債を最大限活用し、事業を計画的に推進していきます。

にかほ市の財政状況

財政状況が良好かどうかを示す指標に、健全化判断比率(4指標)と資金不足比率があります。国が示す判断基準により、市の財政が「健全」、「早期健全化(要注意)」、「財政再生(破たん)」のいずれの状態にあるか、また、各会計の経営状態について判断することができます。

令和4年度健全化判断比率		早期健全化基準	令和4年度資金不足比率		事業の規模	経営健全化基準
実質赤字比率	-%	13.49%	水道事業会計	-%	486,760千円	各会計 20.0%
連結実質赤字比率	-%	18.49%	公共下水道事業特別会計	-%	225,904千円	
実質公債費比率	8.8%	25.00%	農業集落排水事業特別会計	-%	77,395千円	
将来負担比率	57.6%	350.00%	※どの会計においても資金不足は生じないため、比率は、「-」と表示されます。			

健全化判断比率...①実質赤字比率...財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合 ②連結実質赤字比率...財政規模に対する全会計の実質赤字額等の割合
③実質公債費比率...財政規模に対する借金返済額等の割合 ④将来負担比率...財政規模に対する将来負担すべき実質的な負債(市債など)等の割合
資金不足比率...公営企業会計(水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業)ごとの事業規模に対する資金不足額の割合